



ノートPCの注意

BitLockerに起因するトラブルが散見されます。

BitLocker：情報保護のためパソコンの記憶装置（HDD,SSD）を暗号化する機能

BitLockerが有効で、パソコンが故障すると....

回復キーがないとファイル(レポート)が**取出せない**
(記憶装置が無事であっても)。

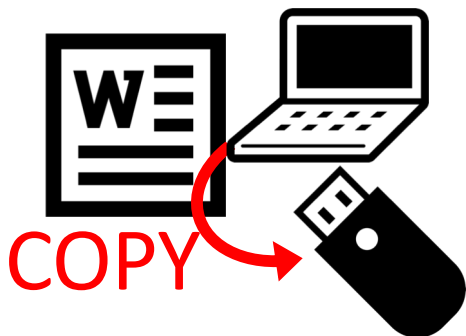


1.ご自身のパソコンでBitLockerが有効になっているか確認してください。

● マイクロソフトアカウントでログインしている場合は対象となる可能性が高いです。

2.有効であれば、解除キーとパソコンのログインIDを記録してください。

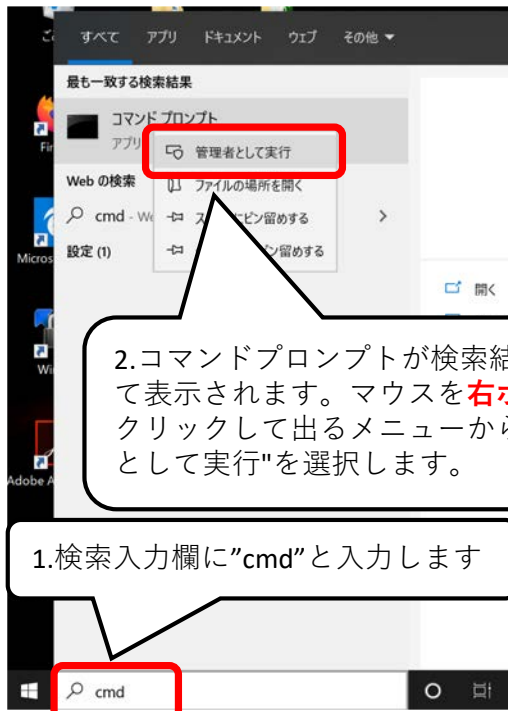
重要！



本件にかかわらず、情報機器にも故障はつきものです。
大切なファイルは、こまめに2つ以上の機器（例えばパソコン本体とUSBメモリ）に複製してください（バックアップ）。

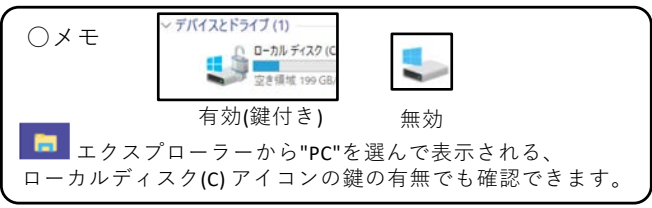
BitLockerの確認方法

コマンドプロンプトを管理者モードで起動し、BitLockerの有効/無効を確認します。



2.コマンドプロンプトが検索結果として表示されます。マウスを**右ボタン**をクリックして出るメニューから"管理者として実行"を選択します。

1.検索入力欄に"cmd"と入力します



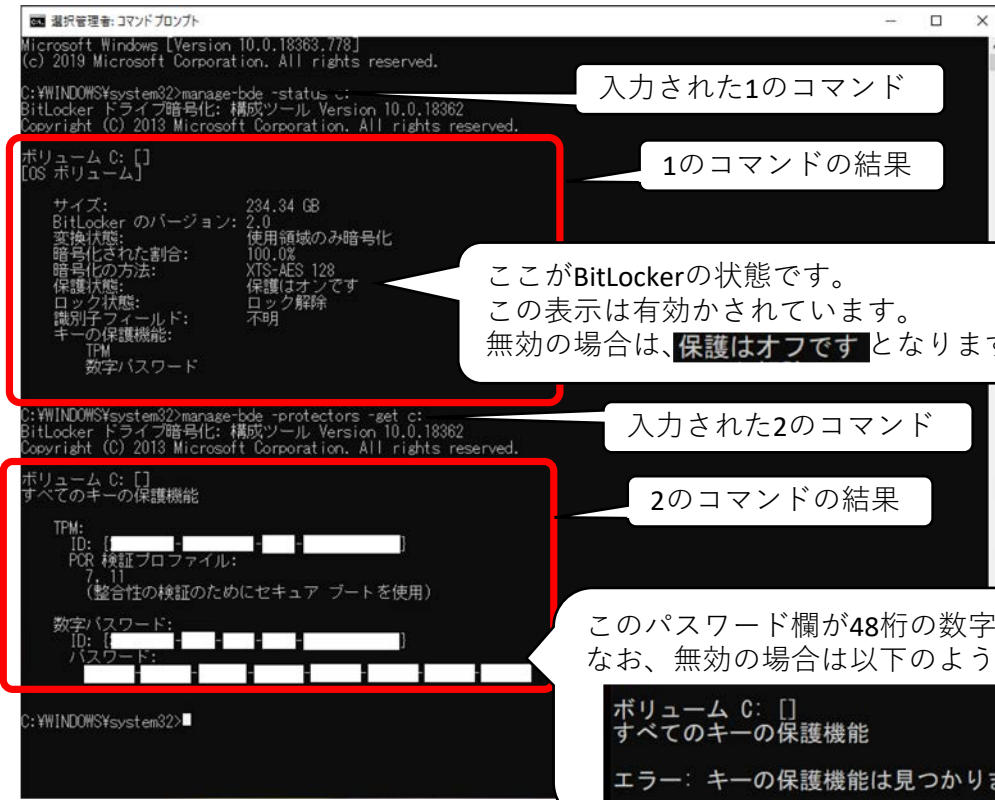
4.BitLockerが有効化されている方は、以下の情報を確認してください。無効の方はそのままお使いください。ただし、以下で説明するユーザーIDとパスワードは、覚えておくようにしてください。

ユーザーID	○○○○○@outlook.jp(gmail.com,icloud.com等)
パスワード	パソコンのログインパスワード(顔,指紋,PIN,認証は不可)
回復キー	123456-123456-123456-123456-123456-123456-123456-123456

3.起動したコマンドプロンプトのC:¥Windows¥system32>に続いて以下のコマンドを入力します。C:¥Users¥"ユーザID名">と表示されている場合は"管理者として実行"していない可能性があります。

	コマンド	用途
1	manage-bde -status c: ↵	BitLocker状況確認
2	manage-bde -protectors -get c: ↵	キーの確認

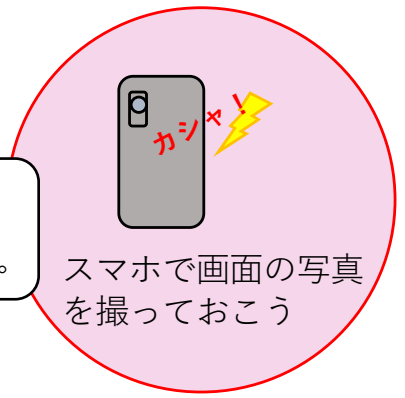
すべて英数直接入力です
 ↑ スペース
 ↵ Enter



ここがBitLockerの状態です。この表示は有効かされています。無効の場合は、**保護はオフです**となります。

このパスワード欄が48桁の数字が回復キーとなります。なお、無効の場合は以下のように表示されます。

ボリューム C: []
 すべてのキーの保護機能
 エラー: キーの保護機能は見つかりませんでした。



スマホで画面の写真を撮っておこう

普段は、顔,指紋,PINなどでサインインしていても、**いざという時はパスワードが必要**となります。パスワードは、メモなどして、必ずわかるようにしておいてください。

ユーザーIDの確認方法

マイクロソフトアカウントの場合、ユーザーIDは、メールアドレスや電話番号です。



“設定”から“アカウント”を選択します。



赤い部分にユーザーIDであるメールアドレスなどが記載されています。



※“コンピュータ名”の確認方法

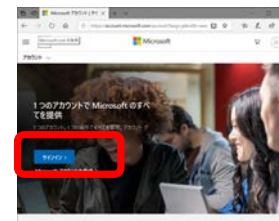
- 1.
- 2.
- 3.

1.ファイル閲覧に使用する“エクスプローラー”を起動し、2.左ペインの“PC”を右クリックして“プロパティ”を選択、3.表示された画面に“コンピュータ名”が表示されています(赤色部分)。

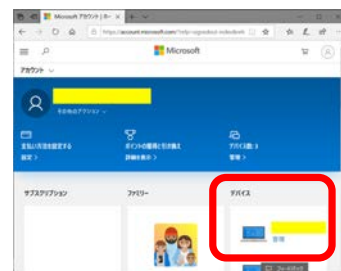
参考:マイクロソフトアカウントポータルでの確認方法

確認したユーザーIDでマイクロソフトアカウントのポータルにサインインし、回復キーを確認できます。2019年12月では以下のURLにブラウザでアクセスします。

<https://account.microsoft.com/account?lang=ja>



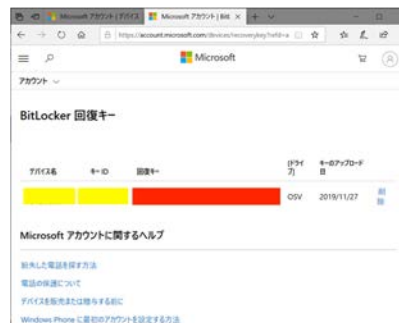
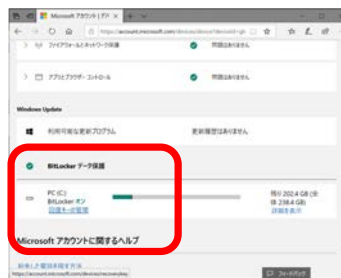
“サインイン”をクリックし、ユーザーIDとパスワード(PINなどは不可)を入力してサインインします。



デバイス欄に、使用している“※コンピュータ名”があることを確認して、“管理”をクリックします。



デバイスページをスクロールすると、“BitLockerデータ保護”項目があり、ここから回復キーを確認できます。



2段階認証のコード入力が必要のため、ユーザーIDであるメールやSMSに送信された番号を取得して入力すると、回復キー(赤色部分)が表示されます。